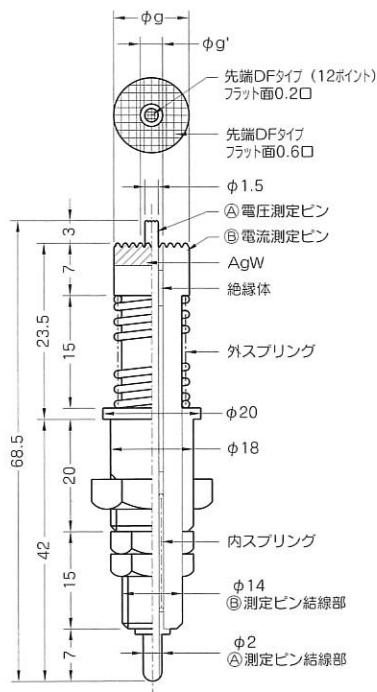


# AgW接点 4端子測定用同軸型コンタクトプローブ CPMM200

耐熱温度100℃以下。使用可能電流220A以下、突入電流300A。

品名	gφ	g'φ
CPMM200-DFW(18)	18	3



上記記載寸法の単位はmm。先端形状の詳細寸法は先端形状別一覧表 (P291) をご覧ください。

コンタクトプローブ種類	スプリング圧力記号	移動距離 (mm)	スプリング定数 (g/mm)	初接触圧 (g)	2/3圧縮 (g)	全圧縮 (g)	
CPMM200-DFW(18)	電流用	SPS	6.5	450	3,000	4,950	5,925
		SPH					
	電圧用	3	50	200	—	350	

使用方法	固定方法	②測定ピン結線部	④測定ピン結線部	参考取付穴径	最小取付間隔
コンタクトプローブのみ	M18ナット止め (付属品)  (M18×P1×11)	ねじ結線、M14ナット止め (付属品)  (M14×P1)	TA40TC (付属品)  (圧着)	18.0~18.1	25.5

〈取り付け方法〉	〈手順1〉	〈手順2〉	〈手順3〉
軸受部、コンタクトプローブ部、スプリング、固定ナットの四部品に分かれて納入されますので、右図を御参照の上、順次ピンボードに組み立ててお使い下さい。			

- 注意1：電圧測定ピンが一体型のタイプになっておりますので、接触に伴い④測定ピン結線部が3mm動きます。
- 注意2：参考取付穴径はあくまでも、参考の数値です。必ず試し穴をあけて最適な工具径と穴径を決めてください。
- 注意3：接触部はワークの材質や形状の影響が大きく、一定の条件を保つ事は困難です。記載されている使用可能電流値や突入電流値はあくまでも推定値にすぎません。
- 注意4：条件によっては、記載された範囲内でもアークや発熱が発生します。使用開始前には必ずアークの発生や発熱等の有無を確認し、使用可能な電流値の範囲をご確認した後、使用してください。
- 注意5：使用後は接触部の摩耗等によりアークや発熱が発生します。使用を開始したら、必ず定期的にあークや発熱等が発生していない事をご確認の後、使用を継続するようにしてください。

**警告** ワークの材質や形状等によりアークの発生または発熱等の問題が発生することがあります。使用開始前には必ず、使用中には定期的にあークの発生や発熱等の有無を確認してください。上記問題が発生した場合は速やかに使用を中止してください。放置した場合は火災などの発生を引き起こす場合があります。

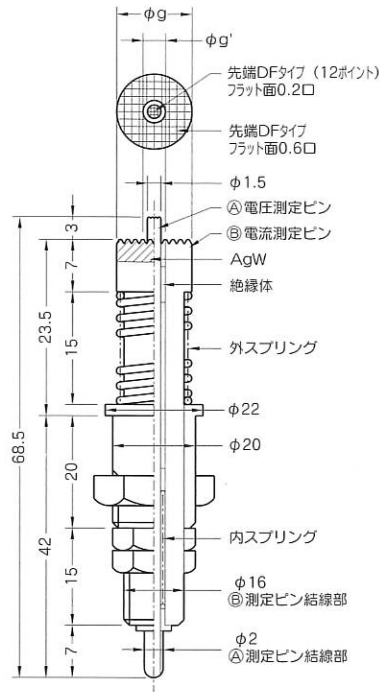
種類別図表  
大電流用同軸型

16

# AgW接点 4端子測定用同軸型コンタクトプローブ CPMM220

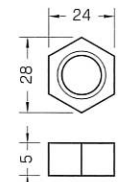
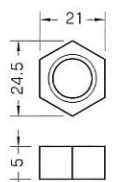
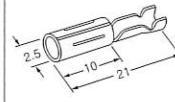
耐熱温度100℃以下。使用可能電流300A以下、突入電流400A。

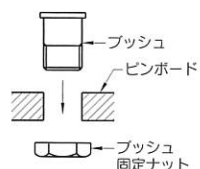
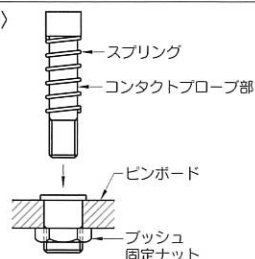
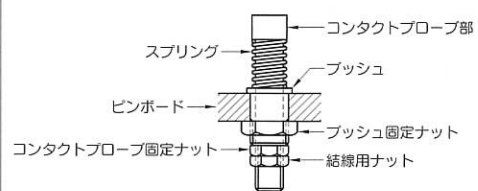
品名	gφ	g'φ
CPMM220-DFW(20)	20	3



上記記載寸法の単位はmm。 先端形状の詳細寸法は先端形状別一覧表 (P291) をご覧ください。

コンタクトプローブ種類	スプリング圧力記号	移動距離 (mm)	スプリング定数 (g/mm)	初接触圧 (g)	2/3圧縮 (g)	全圧縮 (g)	
CPMM220-DFW(20)	電流用	SPS	6.9	500	3,000	5,300	6,450
		SPH					
	電圧用	3	50	200	-	350	

使用方法	固定方法	③測定ピン結線部	④測定ピン結線部	参考取付穴径	最小取付間隔
コンタクトプローブのみ	M20ナット止め (付属品)  (M20×P1×11)	ねじ結線、M16ナット止め (付属品)  (M16×P1)	TA40TC (付属品) 	20.0~20.1	29.0

〈取り付け方法〉	〈手順1〉	〈手順2〉	〈手順3〉
軸受部、コンタクトプローブ部、スプリング、固定ナットの四部品に分かれて納入されますので、右図を御参照の上、順次ピンボードに組み立ててお使い下さい。			

- 注意1: 電圧測定ピンが一体型のタイプになっておりますので、接触に伴い④測定ピン結線部が3mm動きます。
- 注意2: 参考取付穴径はあくまでも、参考の数値です。必ず試し穴をあけて最適な工具径と穴径を決めてください。
- 注意3: 接触部はワークの材質や形状の影響が大きく、一定の条件を保つ事は困難です。記載されている使用可能電流値や突入電流値はあくまでも推定値にすぎません。
- 注意4: 条件によっては、記載された範囲内でもアークや発熱が発生します。使用開始前には必ずアークの発生や発熱等の有無を確認し、使用可能な電流値の範囲をご確認した後、使用してください。
- 注意5: 使用後は接触部の摩耗等によりアークや発熱が発生します。使用を開始したら、必ず定期的にあークや発熱等が発生していない事をご確認の後、使用を継続するようになしてください。

## 警告

ワークの材質や形状等によりアークの発生または発熱等の問題が発生することがあります。使用開始前には必ず、使用中には定期的にアークの発生や発熱等の有無を確認してください。上記問題が発生した場合は速やかに使用を中止してください。放置した場合は火災などの発生を引き起こす場合があります。